

重要インフラ 14 分野を対象に 障害対応体制の検証のためのサイバー演習を実施 ～ 2022 年度「分野横断的演習」～

2022年12月9日(金)、内閣サイバーセキュリティセンターは、重要インフラ 14 分野を対象に重要インフラ事業者等が日頃より強化に取り組む障害対応体制が有効に機能するかを確認し、改善につなげていくことを目的に、「分野横断的演習」を実施しました。

演習開催に当たり、開会式に谷公一大臣が出席しました。

谷大臣は、昨今のサイバー情勢を踏まえた重要インフラへの影響や本年6月17日、サイバーセキュリティ戦略本部において決定した「重要インフラのサイバーセキュリティに係る行動計画」について触れた上で、本演習を通じて、これまでの取組について課題を抽出・改善し、今後も重要インフラサービスを安全かつ継続的に提供していただくことを期待する旨の挨拶を行いました。

今年度は、コロナ禍で見合わせていた対面での参加を再開し、オンライン参加と合わせたハイブリッド開催を3年ぶりに実現しました。約5,500名が参加し、ランサムウェア攻撃やEmotet(エモテット)への感染時の対応について確認するなど、障害対応体制の強化を図りました。



開会式にて挨拶を行う谷大臣



集合会場にて演習する参加者